

平成30年度 社会福祉法人オリーブの会 事業報告案

社会や人とのつながりをつくり、ひとりひとりを大切にしたい、多様に生きることが出来る環境・社会をつくる。

各事業の役割を分担し、連携しながら、法人として多様な役割を果たせるように努める。

就労継続支援 B 型事業所 オリーブホットハウス（東野・オリーブ農園）

就労支援事業の更なる充実に努め、メンバーの働きがいや働きやすさを追求し、多様な作業を提供することで、メンバーのニーズに合わせた支援を展開した。また、外部との連携も積極的に行い、働く環境をより地域に広げていった。

特定計画相談支援事業所 オリーブ相談支援事業所

オリーブのメンバーを中心に相談支援を行った。訪問看護事業所や外部の福祉サービス事業所とも連携をとり、メンバーの意思を尊重したサービス利用等計画の作成に努めた。報酬改定に伴う加算は算定できていない。

共同生活援助 グループホーム小山の家

大きな事業展開はなく、ある程度安定した事業運営となった。日中活動事業所や訪問看護事業所等と積極的に連携を行った。また、一人暮らしに移行したメンバーもあり、今後もニーズにあわせた事業展開が柔軟に行えるよう、メンバーにニーズ、地域のニーズの把握に努める。

こころのふれあい交流サロン るまんやましな

職員体制やメンバーの作業体制の整備に努め、安心して過ごせるサロンの基本機能を中心にし、運営を行った。また、新規スタッフの採用や12月よりパン製造販売も開始する等、より地域に根ざした運営に努めた。

■基本方針

① 改正障害者総合支援法への対応

報酬単価の改正で、工賃の多寡による評価が全面的に押し出され、加えて目標工賃達成加算が廃止されたこともあり、給付費収入が大幅に減額となった。情報収集等を様々な機関に属し、事前に行ったが、適切な対応がとれたとは言い難い。しかし、本来機能である安心して通える場所をスタッフ一同が基本として持ち、メンバーに接し、支援できたことは評価できる。

② 自立生活援助、日中サービス支援型

継続して検討しており、ニーズに合わせて申請を予定。一人暮らしをしたメンバーについては、共同生活援助とB型が連携しながら、フォローを継続。そこでの実践を今後の事業形態に繋げていく。

③ OJT、研修計画

具体的な研修計画は未策定だった。しかし、各事業所の体制の整備、責任分担の明確化を進め、今後の事業の基盤を整備できた。それに伴い各種の規定の整理、改訂等も検討をしており、人材育成及び定着における取組は今後も継続的に実施をしていく。

④ 事業の整理、設備投資

既存の事業については、取引業者の都合もあり、否応なしに見直しを迫られた。また、合わせて作業場の整備も行い、メンバーが安心して作業ができ、作業所としての一体感が持てる環境の整備を目的に、東野での内職と自主製品の作業場の統合を行った。

また、パン製造については、サロンで12月より本格的に実施した。農園との役割分担や日々の連携、メンバーの作業体制等、当然発生する様々な課題に対し、メンバーの意見や働きやすさを重視しながら、各スタッフが協力して、進めた。抜本的な事業移行とまではいかなかったが、今後の事業展開の基礎を築いた。

⑤安定した職員体制の整備。

スタッフの採用を行い、人材の確保、質の高い支援の提供に努めた。また、リフレッシュ休暇制を設ける等、働きやすさの点についても取り組みを進めた。賃金規則の改正については、理事会に提案したが、まだ議論の最中の為、次年度以降に継続的に議論をしていく。メンバーの働きやすさもさることながら、そのベースであるスタッフの働きやすさも重視し、次年度以降も様々な取り組みを検討、実施していきたい。

⑥今後の事業展開の構想

中長期計画に基づく、事業の運営は承認を得られており、小規模な設備投資は実施したが、大規模な資本の投資は未実施。事業規模として適切なスタッフの採用等、人的資本に対する先行投資をしており、安定した事業運営に努めた。ニーズに応じた新たな事業の申請を検討しており、今後も中長期計画を連動させた運営を行い、事業を実施していく。

平成 30 年度 オリーブホットハウス 事業報告案

■活動内容

(1) 就労支援事業

各部門の報告を参照。

(2) 地域ボランティア清掃

月に 1 回約 30 分をかけて東野、小山各事業所周辺やバス停等の清掃を行った。

(3) メンバーミーティング

毎月月初に施設内の約束事項や働く場所、居場所としてより良い環境作りについて、メンバー間で主体的に意見を出し、場全体の空気やメンバー間で相互に作用をすることを目的に実施した。場所も東野、小山両事業で交互に実施し、担当スタッフも順番で回した。

(4) レクリエーション

別表参照。

(5) 教室活動・文化活動

歌のサロン、絵画教室を実施し、歌の交流会や絵画展等と組合せ、多くのメンバーに参加してもらえるように工夫を行った。絵画教室に新たな先生に来て頂き、以前と雰囲気の変った教室を実施。また、インド料理教室や年度の後半より月に 1 回手話のワークショップ等の新しい活動も行った。

(6) 給食

東野は月曜、木曜、金曜日、小山は月曜、水曜、木曜日に実施した。メンバーの意見を取り入れたり、農園の季節の野菜を使ったメニューも積極的に取り入れた。

(7) オリーブだより、情報公開・情報発信

オリーブだよりを年に 4 回発行し、関係機関に送付した。事業計画や決算等、積極的に情報公開を行った。Facebook を使用し、出店等の情報発信を行った。

(8) 地域ネットワーク

地域福祉の向上やオリーブが有する機能を地域に還元することを目的に地域・関係機関のネットワークに積極的に参加した。参加ネットワーク：山科こころの健康を考える会、京都市東部障害者自立支援協議会（グループホーム部会）、京都精神保健福祉施設協議会（京都市自立支援協議会虐待防止検討部会、福祉サービス運営適正化委員会）、山科区地域福祉推進委員会・山科区地域支え合い活動実務者会議、京都社会就労センター協議会等。

(9) 実習生・ボランティア受け入れ

福祉に関わる後進の育成や地域との適切な関係構築のため、実習生（精神保健福祉士養成、精神看護実習）やボランティア等を広く受け入れた。

○精神保健福祉士養成

大阪保健福祉専門学校、ノートルダム女子大学、京都府立大学、佛教大学、

○精神看護実習

京都第二赤十字看護専門学校

○ボランティア

風のリンケージ、地域住民、大学生

(9) 地域交流

地域との交流や地域貢献を目的に、関係機関等との交流、連携を行った。また、地域の出店にも積極的に参加した。

○就労支援事業におけるボランティアとの交流

○学区民生委員・社会福祉協議会とのランチケアやフリースペースを通じた交流

○よつ葉の会員さんや地域住民の方と WS や教室活動を通じた交流

○手作り市や学園祭、季節毎の催しへの参加

○サロンの地域密着機能（フリースペース、こんにちは赤ちゃん事業等）の充実

(10) 業務委託

京都市こころのふれあい交流サロン実行委員会事務局の受託。会計指導を中村修二税理士事務所へ委託。

(11) 評議員会・理事会の開催

○評議員会

平成30年度定時評議員会 平成30年6月23日（土） 13:00～

第1号議案 平成29年度事業報告案

第2号議案 平成29年度決算案

報告事項

社会福祉充実計画、組織図、サロン他

○理事会

平成30年度第1回理事会 平成30年6月7日（木） 19:00～

第1号議案 理事長・業務執行理事の職務執行報告

第2号議案 平成29年度事業報告案

第3号議案 平成29年度決算案

第4号議案 評議員会の招集について（日時、場所、議案）

報告事項

社会福祉充実計画

平成30年度第2回理事会 平成30年10月30日（木） 19:00～

第1号議案 平成30年度補正予算案

第2号議案 賃金規則の改正

第3号議案 中長期計画案

平成30年度第3回理事会 平成31年3月22日（金） 19:00～

第1号議案 理事長・業務執行理事の職務執行報告

第2号議案 平成31年度事業計画案

第3号議案 平成31年度予算案

第4号議案 賃金規則の改正案

報告事項

サロン、その他

(12) 施策への反映

様々なネットワークや全国組織等に加盟をし、要望活動や懇談会に積極的に参加をすることで、施策等へつなげていく活動を行った。また、他機関や他業種、民間企業との連携を図り、精神保健福祉の増進に努めた。

●平均工賃

29年度	人数	金額	平均		30年度	人数	金額	平均
4月	38	434,650	11,438		4月	45	480,436	10,676
5月	38	311,680	10,647		5月	45	457,266	10,161
6月	38	369,870	10,629		6月	42	490,192	11,671
7月	38	425,540	10,062		7月	42	416,530	9,917
8月	39	381,870	9,791		8月	37	350,160	9,464
夏期	40	207,700	5,192		夏期	45	205,900	4,576
9月	41	379,030	9,245		9月	37	284,376	7,686
10月	38	381,420	10,037		10月	38	430,552	11,330
11月	38	428,660	11,281		11月	36	428,460	11,902
12月	45	394,710	8,771		12月	36	377,982	10,500
冬期	44	443,400	10,077		冬期	41	365,250	8,909
1月	44	411,790	9,359		1月	34	335,754	9,875
2月	45	377,580	8,391		2月	35	372,646	10,647
3月	44	436,760	9,926		3月	36	402,306	11,175
合計	486	5,604,380	11,531		合計	463	5,397,810	11,658

●登録者数 47名 (平成30年3月31日時点)

平均年齢 47.1歳 男性29名(67.4%)、女性18名(32.6%)

●登録 5名

保健センターより紹介	2名
医療機関より紹介	2名
支援センターより紹介	1名

※見学者10名(昨年度26名)

●退所 6名

施設が合わない	4名
就労移行支援事業所	1名
その他	1名

●利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
延べ利用者数	561	604	614	546	528	427
開所日数	25	22	23	21	22	21
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ利用者数	562	512	465	473	460	490
開所日数	27	24	23	20	20	23

延べ利用者数の計 (A)	6242人	開所日数の計 (B)	255日	$A \div B$	24.4人
--------------	-------	------------	------	------------	-------

●月平均通所者数 25.9名 (28.0名)

東野 16.8名 (17.6名)

小山 9.8名 (10.9名)

●年間総作業時間 15575時間 (18475時間)

●月平均作業時間 1420.1時間 (1539.6時間)

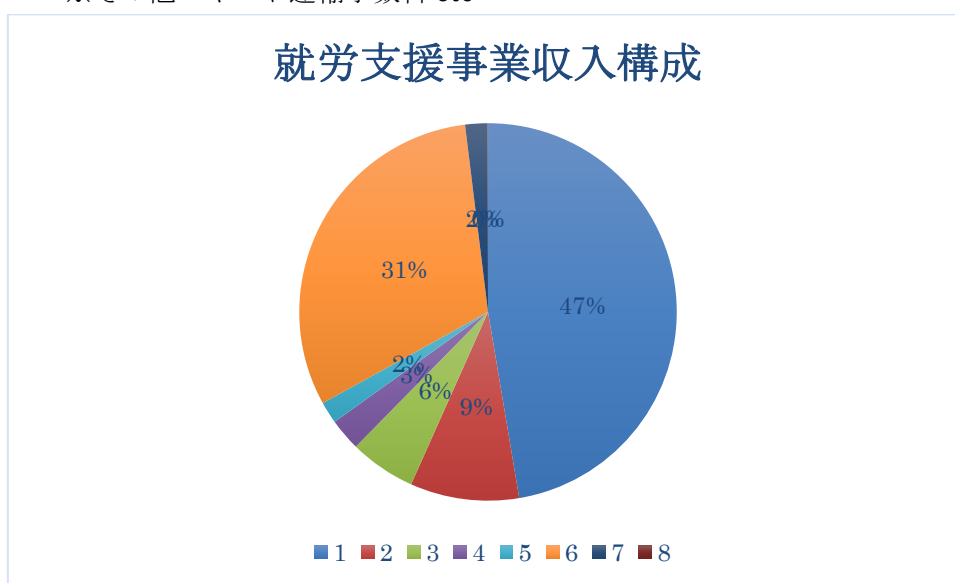
東野 912.6時間 (980.0時間)

小山 507.5時間 (599.6時間)

■就労支援事業

	平成 30 年度		平成 29 年度	
	金額 (円)	構成比	金額 (円)	構成比
年間授産収入	10,812,353	100.0%	10,604,662	100.0%
内訳				
(1)畑	5,120,148	47.3%	5,972,126	56.3%
(2)自主製品	1,008,520	9.3%	952,640	9.0%
(3)内職	612,864	5.6%	658,860	6.2%
(4)春日丘	298,000	2.7%	302,000	2.8%
(5)サロン	202,300	1.8%	144,850	1.4%
(6)醍醐寺	3,360,000	31.0%	2,520,000	23.8%
(7)パン	206,450	1.9%		
(8)その他	4,071	0.0%	199,036	1.9%

※その他 ヤマト運輸手数料 etc



① 畑 (全体)

2018年度農園の運営にあたり、生産から加工、販売までをしっかりと繋いでいくということを大きな目標とし、各部門で創意工夫や小さいチャレンジを行いながらの連携を模索した。結果として生産から販売までの距離はスタッフの連携などにより縮まってはいるが、各部門での細かな修正や当初立てていた小さいチャレンジについて出来なかったものもあり、完全に連携が上手くいっている状態にはなっていない。これについては2019年度の課題・目標として店舗・加工場の整備を軸として具体的な修正を行っていく。

農園全体としては既存の作業形態を継続しながら売り上げ目標の6,000,000円を目指すことで、メンバーに対して適切な工賃の支給と、その働く場の提供および、日中活動とし

で通える居場所としての機能を果たしてきた。しかし年度当初からメンバーの退所者などがでたことも関係し、年間にすると前年度より約 1700 時間の作業時間が減っている。工賃に換算すると約 500,000 円以上となる。売上額が大幅に減っているわけではないので、人数や作業時間数が少なくても効率の良い方法や、メンバーに合った作業を提供することで、年度当初の作付けや生産計画を変更することなく終えたが、身の丈に合った農業の在り方を考えることが年度を終えて求められている。

各部門での振り返りと新たな課題としては、生産においては上記の通り身の丈にあった生産活動の在り方、加工は生産・販売との連携による、規格外野菜を販売できるように加工を行うこと、販売は生産と加工との連携を元に店舗を確立させ、より地域のアンテナショップになっていくことが求められている。今年度未達成に終わった小さいチャレンジも含めて次年度継続して取り組んでいく。

地域とのかかわりなどについては農園を中心に、芋ほり、大根等の収穫体験を行った。少しずつ農園への収穫体験の依頼も増えているため、地域の方が楽しく参加できる風通しのよい運営を次年度も継続的に行っていく。

生産

生産としては、スタッフ及びメンバーの生産スキルの向上や、メンバーだけでできる作業の確立などを目標に行ってきたが、メンバー人数減やボランティアさんの高齢化に伴って、畑全体の生産力が落ちてきているなか、スタッフやメンバーが積極的に生産に携われる環境や、農業従事ボランティアから専門的なスキルの指導が学べるだけの時間が少なかったこ等があり、年度初めに描いていたものより非常に緩やかな進捗となってしまった。生産力が減っていく中でもそれを補えるスキルの積み上がりや習得ができる方法を次年度は模索しながらしっかりと計画していくことが求められている。

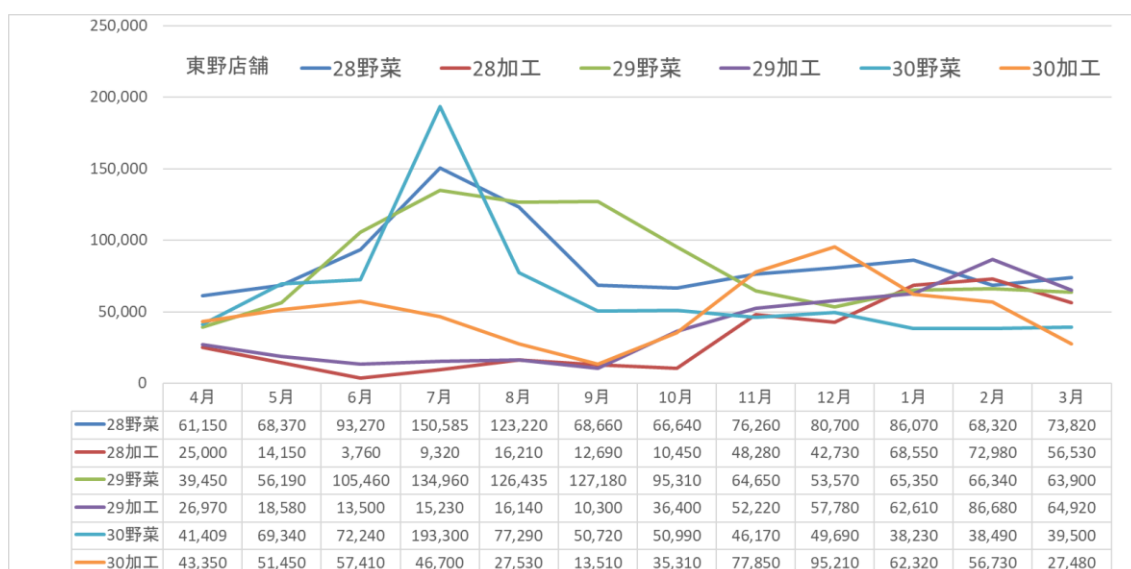
加工

加工については目標に沿って新商品の開発を随時行い、モロヘイヤの粉を練りこんだクッキーや、既存のパウンドケーキの新しいタイプのものを開発したりと、販売の売れ行きを見ながら、売れやすいものへとシフトする工夫を行いながら、定番となるような商品開発と、ベースのレシピ開発を行ってきた。そしてその結果として、レパートリーも徐々に増えている。またそういったことを積極的に行える環境の整備として、加工場でのミーティングや、加工機材の導入により、作業の効率性とやりやすさが向上され、より自信とやりがいを持って取り組めるような環境へとシフトしていつている。次年度もこの加工場をベースに新たな商品づくりと、やってみたくなる加工作業の提供を行っていく。

東野販売

東野販売は店舗のコンセプトに応じて、目標でもあったチラシ等の作成などいくつかの

取り組みを念頭にやってきたが、できなかった部分もあり、行ったことのデータの分析や、分析した結果どのように変化をさせていくのかというPDCAサイクルが出来ておらず、その結果店舗のコンセプトが見えにくくなってしまいう時などもあった。PDCAサイクルがうまく機能しなかったことに関してはスタッフ間の共有やベースとなるルールが曖昧なこと、またその日の従事スタッフの入れ替わりなどが起因しているため、次年度への課題として、まずはスタッフが積極的にベースづくりの働きかけを行っていく必要がある。レジ等の導入により人が管理する手間が減るなかで、メンバーやスタッフの店舗運営体制の整備等が次年度については求められている。お客さんが店舗やオーリーブ・農園に有機的に繋がれるような場にするためには、更なる工夫が必要となり、次年度は店舗のレイアウトなど大きく見直しを図りながら、PDCAを駆使しながらより良い店舗と作業環境を目指し行っていく。



② 自主製品 年間売り上げ 1,008,041円

総作業時間 2,647時間

週1日から3日、半日の作業をするメンバー、ほぼ毎日3~4時間の作業をするメンバー、それぞれに合わせた通所と作業をしてもらっている。無理のないよう配慮をしながら、できる事を増やしてきた。また、織る生地やほどく着物について何に使われるのか、よりよい物を作るためにどうしていけばよいのかを考えて取り組む姿勢に変わってきている。職員の見守りの中、メンバー同士で声を掛け合い、協力しながら作業ができた。

今年度も、ほっとはあとへの計画的な納品を続けることができた。昨年度から本格的に制作を始めたさきをりの帽子と着物で作ったワンハンドルバッグがよく売れている。生地を織りや着物ほどきから縫製に至るまで、メンバーの手による制作が可能になっている。出

店は、雑貨に絞った形を中心に参加。昨年と変わらぬ売上になっている。

また、ミシンの技術力を上げていく目標に対し、シーツ玉入れの縫製を進めた。一つ一つの工程を何度も確認しながら続け、メンバーだけで完成できるようになっている。しかし、以前は縫製を発注されていた認知症予防講座の中で独自に制作される方が増えた事により、注文数が減り売り上げは伸びなかった。

今年度、新製品として、着物バッグを作った。メンバーやボランティアさんと一緒に試行錯誤を繰り返し、直線のミシン縫いのみで完成できるという製品に仕上がった。手ごろな値段と着物を使っているという事からお土産としてよく売れており、複数のメンバーが制作できるようになっている。

さをりへの取り組みを希望するメンバーが増え、工程表を提示し自分が今どの段階の作業をしているのかわかりやすいように工夫をした。整経から洗濯アイロン、房作りまで一連の作業を習得したメンバーが増えた。それぞれのメンバーが予定した通所作業をされたことで、技術力が上がりできる事が着実に増えた。その結果、メンバー同士で助け合い協力しながら作り上げることができている。

売り上げは、目標を達成できた。ほっとはあと（敬老ショール込み）と東野店舗での売り上げが伸び、シーツ玉入れの減額分をカバーすることができた。作業メンバー 平均 5 名。

③ 内職 年間売り上げ 630,139円
総作業時間 2,647時間

畳紙（嶋津）、袋折り（大曜）、お守り（京都奉制）と 3 種類の作業を、切れ目ができないよう、曜日やメンバーの数を把握したうえで作業を行った。3種類の作業配分を職員が提案し、メンバーと一緒に作業を段取り、継続し積み上げる事ができた。その中で、個々のメンバーの体調や個性に合わせた作業を提供し、側について違う段階の作業への促しや助言を行った。

新しい仕事として和雑貨の細作業（夢み屋）を試みたが、作業内容がその都度変化し対応できるメンバーが限られてきた事、仕事の途切れる月がある事、集配への負担等の理由により 4 月から 12 月までで一旦終了している。その後、作業時間の減少により現作業の納品がぎりぎりの状態になり新しい仕事の開拓はできていない。

売り上げは、目標金額の 97%の達成になった。作業時間数が前年に比べ約 900 時間減っているにも関わらず、売り上げがある程度キープ出来たのは個々のメンバーの能力が向上した結果だと思われる。作業メンバー 平均 6 名。

④ 春日丘センター 年間売り上げ 298,000円

週3日（月、水、金）2h/1日の清掃作業を2人ペアにて施設外就労としておこなってきた。30年として新規メンバーの募集（掲示と個々へ呼びかけ）を行ってきたが、思うように集まらなかった。また清掃作業の中心となっていたメンバーのひとりが、30年9月以降は作業からはなれ、人員が集まらない影響もあり、スタッフが作業する日が増えた。時には2人2hの作業をスタッフひとりで対応しなければならない状況が、30年9月から31年3月末まで続いた。見学者は5名、体験者は2名いたが、シフト作業として入られたのは1名のみであった。清掃を通じ専門性を養いつつ就労の為の体力やルールを学び、人との関りを築ける場として提供をしているが、メンバーのニーズが減少しており、作業の縮小も考慮して考えなければならない1年となった。

作業時間		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	平均
実働作業日数／月		12	13	13	12	13	11	14	13	12	11	12	13	149	12.4
メンバー作業時間／月		30	36	32	32	30	18	10	18	16	12	16	18	268	22.3
スタッフ作業時間／月		18	16	20	16	22	26	46	34	32	32	32	34	328	27.3
総作業時間／月		48	52	52	48	52	44	56	52	48	44	48	52	596	49.7
スタッフ回数／月		9	8	10	8	11	13	23	17	16	16	16	17	164	13.7

⑤ 醍醐寺 年間売り上げ 3,360,000円

週5日（月、水、木、金）の施設外就労をおこなってきた。メンバー募集に対し見学者、体験者を含め約5名の方が来られる中、シフト作業に定着し従事出来たのは1名だけに留まったが、その方は安定し作業を継続できている。7月末に大きな台風接近に伴い醍醐寺も多大な被害を受けた。木々は倒れ、電線はあちこちと切断されている中、安全に通れる箇所のご案内など清掃業務だけに限らず参拝客や地域住民の方への声かけなども行なってきた。数ヶ月はまともに境内に入る事も出来なくなる中、各トイレ周辺だけは無事であったのでトイレ清掃の巡回を任されて行った。今となっては以前より綺麗になり、地域住民や参拝客からの苦情が無くなったと言う声を頂き、今後トイレ清掃と宿直用のお風呂清掃もオリーブでやってくれないかと依頼を受けるまでになった。この依頼については実現可能か協議中である。

30年の目標としていた作業時間260h／月に対して実績は249.8h／月で達成率は96%であった。達成できなかった理由として7月下旬に一人が作業中足をひねり骨折、一人が熱中症から夜が眠れなくなり体調を崩し、共に入院されるかたちとなった。退院後については無理なく出来るよう配慮をし、1hから復帰に向けスタートをしてもらった。暑い中作業をすると集中力や体力も奪われ予期せぬ事態が起こり得る事を考慮しつつ、今後も作業を進めていく必要がある。時間数については先方の配慮や日々の皆の業務姿勢等も加

味していただき、減額などはなく今後とも引き続き境内を綺麗に保てるよう一緒にやってもらいたいとお言葉をいただいた。ここに甘えず次年度で恩返しができたらと考えている。

それぞれのメンバーが目指す所に対して、自然に恵まれた環境で地域の方々とふれあい、作業に見合った工賃を安定して稼げる当たり前の生活や豊かさを、これからも提供できるように醍醐寺の業務を通じて色々な関わりをしていく。

作業時間（毎月21日～翌月20日締）														
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	平均
実働作業日数／月	17	13	18	15	14	15	17	18	17	11	18	17	190	15.8
メンバー作業時間／月	248	155	193	232	95	89	162	230.5	250.5	119	230.5	218.5	2,223	185.3
スタッフ作業時間／月	68	52	69	60	60	60	72	83	67	43	72	68	774	64.5
総作業時間／月	316	207	262	292	155	149	234	313.5	317.5	162	302.5	286.5	2,997	249.8
260h に対しての差異	56	▼53	2	32	▼105	▼111	▼26	53.5	57.5	▼98	42.5	26.5	▼123	▼10.3

⑥ サロン 年間売り上げ 202,300円

週4日のサロン営業日に、掃除、接客、喫茶業務を行った。シフト時間を10:30～12:30、12:30～14:30の2交代制とし、4h作業をされる方は10:00～12:00、13:00～15:00の設定とした。4h作業されるメンバーが2名おられ、比較的安定的にシフトを回すことができた。12月から製パン事業が加わることにより、レイアウト等を変更し、今までの作業に大きな影響がでないよう配慮した。新しい作業が入る中で、メンバーの作業従事時間や工賃等をどのように設定をしていくのかを念頭に業務を行い、新しいスタッフが入ったことも契機に、サロン作業の形を考える1年となった。

⑦ その他（ヤマト手数料他） 年間売り上げ 4,071円

■ 年間行事

	レクリエーション・行事	出展・販売
4月	4/6 写生会 (諸刃神社、山科疎水) 4/20 カラオケ同好会 (シダックス)	4/6 毘沙門市 4/28 京の手づくりマルシェ 4/29 醍醐手作り市
5月	5/18 映画鑑賞同好会 (オリーブ) 5/22 バーベキュー (ロクハ公園)	5/19 京の手づくりマルシェ
6月	6/15 ぶらりスイーツ (スイーツパラダイス、建仁寺) 6/29 スポーツ同好会 (山科地域体育館)	6/23 大亀谷マルシェ 京の手づくりマルシェ
7月	7/26 カーレク (近江八幡) 7/27 太鼓同好会 (からしだね)	7/24 山科こころのふれあい夏祭り 7/28 京の手づくりマルシェ
8月	8/18 サタデーナイトレク (オリーブ農園) 8/24 カラオケ同好会 (カラオケ BANBAN)	8/25 和光祭
9月	9/13・14 一泊旅行 (山口) るまん敬老週間	9/11 社協ボランティアフェスタ 9/22 東南フェスタ 大亀谷マルシェ 9/23 バディウォーク
10月	10/5 映画同好会 10/11 ぶらりサロン (隋心院、カフェふらっと)	10/13 山科バルフェスタ 10/14 山科バルフェスタ 10/19 ちーびずマルシェ 10/20 ちーびずマルシェ 10/21 ちーびずマルシェ 10/27 矯正展 京都やましなぐらしまつり 10/28 矯正展 10/28 手作り市 洛和メディカルフェスティバル ノートルダム学園祭

11月	<p>11/1 芋ほり BBQ (オリーブ農園)</p> <p>11/2 スポーツ同好会・ウォーキング (御陵～山科駅)</p> <p>11/30 写生会 (京都市動物園、みやこめっせ)</p>	<p>11/4 やったね秋祭り 小山文化祭 手作り市</p> <p>11/11 よつ葉いもほり交流会</p> <p>11/23 やましな区民まつり</p> <p>11/17 大亀谷マルシェ</p> <p>11/24 京の手づくりマルシェ 毘沙門市</p>
12月	<p>12/7 太鼓同好会 (からしだね)</p> <p>12/21 るまんサンクスクリスマス (るまんやましな) カラオケ同好会 (カラオケ BANBAN)</p> <p>12/28 忘年会 (和食さと、オリーブ)</p>	<p>12/9 ももネットクリスマスフェスタ</p> <p>12/10 シルバーリボンキャンペーン</p> <p>12/22 京の手づくりマルシェ</p>
1月	<p>1/4 新年会・初詣 (毘沙門、オリーブ)</p> <p>1/18 京家連・文化交流会 (ガレリアかめおか)</p> <p>1/25 映画同好会</p>	<p>1/26 ふれあい作品展 こうじの世界 京の手づくりマルシェ</p>
2月	<p>2/22 スポーツ同好会・卓球 (山科グランドボウル)</p> <p>2/26 社会見学 (モクモクガーデンファーム)</p>	<p>2/23 京の手づくりマルシェ</p>
3月	<p>3/25 太鼓同好会 (からしだね)</p> <p>3/26 ぶらりサロン (元慶寺、船越珈琲)</p>	<p>3/23 アート×フードマーケット</p> <p>3/23 きょうと WAKUWAKU 座自主公演会</p>

平成30年度 オリーブ相談支援事業所 事業報告案

■基本方針

①サービス利用計画の作成

オリーブのメンバーの利用計画を作成。ケースに応じ、居宅介護事業所や圏域の委託の支援センター等と連携を行った。

②継続的なモニタリング

計画の作成に伴い、各事業所に出向いたりや訪問等を行い、モニタリングを実施。

③訪問支援

必要に応じ、訪問やサービス担当者会議を実施。通所ができていないメンバーに対するアプローチは出来ていないが、訪問を行いニーズの把握や関係機関・家族との調整を行った。

④相談支援

日々変化するメンバーの状況に応じ、相談を受けることで、必要なサービスの提供に努めた。日中のB型のサービスだけでは充足できないニーズも散見されるので、いっそうの事業連携と新たな事業の整備が必要とされる。

⑤専門性の高い相談支援体制整備

加算の体制整備は未実施。必要な情報収集を継続的に行っていく。

■事業内容

(1) 支給決定時

- ・支給決定又は支給決定変更前に、サービス利用計画案を作成。
- ・支給決定又は変更後、サービス事業者等との連絡調整、計画の作成。

(2) 支給決定後

- ・厚生労働省令で定める期間ごとに、サービス等の利用状況の検証を行い、計画の見直しを行う（モニタリング）
- ・サービス事業者等の連絡調整、支給決定又は支給決定の変更に係る申請の勧奨。

平成 30 年度 グループホーム小山の家 事業報告案

■基本方針

①地域生活の拠点

報酬改定等の情報を注視し、安定した事業運営に努めた。GH 利用後、1 人暮らしをされたメンバーがおられ、日中活動の場であるオリーブホットハウスと連携をし、継続した地域生活ができるよう支援を行った。また、相談支援センターや訪問看護事業所等と連携をし、GH だけで行えない支援を行った。

②地域移行の推進

1 2 月までは、5 名のメンバーが生活をしておられ、新たなメンバーの募集は行わなかった。その後、一人暮らしにメンバーが移行したため、支援センターや医療機関との連携のもと、新たなメンバーの募集及び、入院中のメンバーの支援を行った。また、入院中のメンバーについては医療機関と連携を行った。

③日中支援の拡充

日中サービス支援型を検討していたが、現在のメンバーのニーズはなかったため、申請には至らず。ただし、既存の日中支援体制加算で体調不良等の休みに応じて、日中の支援を行った。退院後間もないメンバーは通所をすること自体が難しいケースもあるため、日中活動がマストではなく、安心して暮らせる場所を改めて目指していく。

④自立生活援助事業

認可を検討していたが、スタッフ体制等も含め、申請はせず。次年度申請予定。

■事業内容

- (1) 共同生活援助計画の作成
- (2) 相談援助
- (3) 食事の提供
- (4) 健康管理・金銭管理
- (5) 緊急時の対応
- (6) 日中活動の場等との連絡・調整
- (7) 定期的な巡回訪問